

今月の特集

家計にやさしい住まいの選択

マイホーム購入は人生最大の買い物です。そのため、住宅購入時の価格だけでなく、その後の維持費や光熱費なども重要な検討ポイントとなります。そこで今回は、長期的な視点で見た、賢い住まい選びのポイントをご紹介します。

見落としがちな
住まいの経済性

住宅購入では、多くの方が頭金と住宅ローンの返済額にばかり目を向けてがちです。

しかし、実は購入後にかかる様々な費用こそが、家計に大きな影響を与えます。一般的な住宅では、光熱費として月々2万円から4万円程度が必要となり、これに加えて維持管理費が年間30万円から40万円程度かかると言われてしています。

30年という長期でみると、これらの費用は住宅の購入価格の半分以上になることも珍しくありません。特に注目すべきは、断熱性能の違いによる光熱費の差です。一般的な住宅では、夏と冬の冷暖房使用時期には電気代が通常の1.5倍から2倍に跳ね上がることも。

また、住宅の構造や性能によって、10年から15年での大規模修繕の必要性や、その費用にも大きな差が生じてきます。

このように、住宅選びでは購入時の価格だけでなく、長期的な維持費用まで考慮に入れた総合的な判断が必要なのです。ランニングコストの違いは、30年では数百万円規模の差となって現れることも少なくありません。

さらに、住宅の性能は家族の健康や

快適性にも直結します。古い住宅や断熱性能の低い住宅では、結露やカビの発生、室温の急激な変化による体調への影響なども懸念されます。これらの問題は、医療費などの追加的な出費にもつながる可能性があるのです。

光熱費から考える
賢い選択

住宅の性能による光熱費の違いは、実際の家計に大きく影響します。

「FPの家」では、独自開発の「FPウレタン断熱パネル」により、真冬でも室温が安定し、暖房費を大幅に抑えることが可能です。

また、住宅の断熱性能は時間とともに低下するものですが、「FPウレタン断熱パネル」は、築年数が経過しても断熱改修の必要がない、持続的

な高性能を実現。結露やカビの発生も少なく、建物の耐久性が高いことも特徴です。

これらの性能は、快適な室内環境による家族の健康面でのメリットだけでなく、将来の資産価値維持にも貢献します。光熱費の削減、メンテナンスコストの軽減、そして資産価値の維持。これらの要素を総合的に考えると、高性能住宅である「FPの家」は、経済的で持続可能な住まいの選択として、理にかなった投資といえるでしょう。近年の研究では、高性能住宅における室内環境の快適性が、居住者の生活の質を大きく向上させることも明らかになっています。

「FPの家」は、季節を問わず安定した室温を保ち、家族全員が快適に過ごせる住空間を実現。将来を見据えた住まい選びの新しい基準として注目を集めています。



住まいの知恵袋

省エネ基準適合の義務化



2025年4月から、建築基準法が改正され、新築の住宅や商業建築における省エネ基準への適合が法的に義務化されます。この法改正は、地球温暖化対策と建築物のエネルギー効率向上を目的としており、戸建て住宅から共同住宅、

事務所ビルまで広範囲に適用されます。国が定める省エネルギー基準を満たさない建築物は、原則として建築確認が得られなくなります。建築主や設計者は、断熱性能、設備効率、再生可能エネルギーの活用、木材の利用促進など、より高い省エネ性能が求められることになります。環境への配慮と同時に、冷暖房効率が大幅に向上し、長期的な光熱費削減にもつながるこの制度変更は、持続可能な社会の実現に向けた重要な一歩と言えるでしょう。

できた! 簡単DIY

ふすまりメイク



古くなったふすまも、リメイクシートを使えば、簡単におしゃれな空間に生まれ変わります。まず、ふすまの表面を丁寧に拭き掃除し、ホコリや汚れを落とします。リメイクシートは、木目調や和紙調、モダンな無地デザインなど、

豊富な種類から選べます。貼る際は、気泡ができないよう、中央から外側へゆっくりと貼り付けましょう。端はカッターで丁寧に仕上げると、プロのような仕上がりに。必要な道具は、シート、カッター、へら、ハサミがあれば十分。初心者でも失敗が少なく、低コストで和室の雰囲気を一新できる、おすすめのDIYメニューです。和の伝統的な空間に新しい息吹を吹き込むふすまりメイクで、見慣れた空間をリフレッシュしてみましょう。

お金の豆知識

食費の節約術

食費の節約は、買い物前の計画と工夫がカギです。毎週のメニュー計画を立て、冷蔵庫にある食材を有効活用し、まとめ買いやセール品の活用で無駄を削減。調理は自炊を心がけ、外食や惣菜を控えめにすることで、月々の食費を大幅に抑えられます。賢い買い物と創意工夫で、家計の味方になりましょう。



おしえて! Dr. 住まいる

防火対策

冬の乾燥期は火災リスクが高まる季節。消火器は目立つ場所に設置し、使用期限を確認しましょう。コンセントプラグのホコリは放置すると発火の原因になるため、乾いた布で定期的に清掃を。暖房器具の周辺は可燃物を遠ざけ、こまめな点検を心がけることが大切です。万が一に備え、家族で避難経路の確認も忘れずに。



暮らしの1ポイント!

福袋



福袋の起源は江戸末期の浅草、越後屋（現・三越）にあります。当時は「詰め合わせ商品」として始まり、新年の縁起物として人気を集めました。元々は売れ残りの商品を詰め合わせたものでしたが、現在では戦略的に企画された豪華な中身が多くの人々を魅了。デパートに限らず、初売りの風物詩として定着しています。